

平成29年度事業報告

1 事業活動の概要

当会は、昭和41年に社団法人として設立されましたが、その後の公益法人改革に伴い、平成25年4月1日に「一般社団法人 科学技術と経済の会」に移行しました。平成29年度は移行後5年目に当たり、前年度に引き続き公益目的支出計画の確実な遂行と、各種事業の充実などに努めました。なお、公益目的支出計画については29年度で完了できる見込みとなりました。

さて、当会を取り巻く平成29年度の経営環境は、内外に不安定要因を抱えながらも、概ね順調に推移したのではないかと思います。内閣府の発表によると、2017年10～12月期のGDPでは、前期比0.4%増、年率換算では1.6%増となり、プラス成長は8四半期連続で、これは約28年ぶりの長さとなり、戦後最長の景気回復がうかがえる局面にきたようです。また労働市場についても厚生労働省の発表によると正社員の有効求人倍率は1.02倍であり、パートタイム労働者らも含めた全体の有効求人倍率は1.52倍と、完全雇用に近い水準となりました。これは就職環境としては望ましい状態ではありますが、一方では人手不足の兆しが顕在化してきているともいえます。

このような環境の改善基調を背景に、当会の平成29年度は、創立後50年が経過し、次の新しい50年に向けての活動の第一歩の年となりました。50年にわたり築いてきた伝統を引き継ぎ、さらに新しい時代・環境に適応しつつ、活動を拡大すべくいくつかの新しい施策に取り組みました。

特に、本会の特別会員向けのプログラムを充実させ、特別会員全体の活動を活性化するとともに、新規加入のバリアを低くし、会員ベースの拡大・充実を目指しました。この目的に添い、「イノベーション実践戦略研究会」を発足させ、特別会員向けのベースサービスの一つとして提供を開始いたしました。これは従来から「技術競争戦略研究会」として、“日本から世界へ飛躍するオンリーワン企業経営に学ぶ実践的経営学”をテーマに継続しておりました研究会をベースに、近年、イノベーションの原動力として存在感を増しているスタートアップ企業にも参加を呼びかけ、大・中・小各形態の企業が交流し、多様な経営哲学・イノベーション戦略を互いに学べる研究会としてリニューアルを行ったものであります。29年度にはユグレナ様、プリファードネットワークス様など、成長著しいベンチャー企業の経営者を招き、講演会・交流会を実施することができ、広く特別会員の関心を集めることができました。

次に、ウェブのホームページ(*)構成・内容について全般的な見直しとリニューアルを行い、またFacebookページ(**)の活用を本格的に開始するなど、当会活動の情報発信を活発にいたしました。ホームページの内容の更新も頻繁に行い、最新の情報、直近のイベント、など会員が求めている情報を素早く、簡単に伝えることを目標としております。また英文のホームページも今回初めて提供を始めました。ホームページには入会案内も載せており、特別会員・個人会員への入会も簡単な操作で手続きできるように致しました。また、Facebookには開催された研究会や講演会の様子を

写真入りで紹介しております。

(*) URL: <http://www.jates.or.jp>

(**) Facebook: <https://www.facebook.com/一般社団法人-科学技術と経済の会-268824476501008/>

このほか、経営研究事業としては従来通り「技術経営会議」と「明日の経営を考える会」を二本柱とし、その他ホットなトピックを専門的に扱う研究会も併せて実施致しました。

「技術経営会議」では、前年から継続の「健康長寿とイノベーション専門委員会」について議論の集約を行い、その活動成果を2018年2月9日に政策提言として発行致しました。この政策提言はホームページからアクセスすることで閲覧することができます。29年度には、新しく「働き方改革ー生産性向上とワーク・ライフバランスー 専門委員会」と「データ利活用とサービスイノベーション専門委員会」の活動を開始しました。例年9月に実施している軽井沢本会議（第87回本会議：9月10日（日）～11日（月））は、統一テーマ『未来の産業創造と社会変革』として、産・官・学からの講師による基調講演をベースとして、AI/IoT/ビッグデータが社会や産業をいかに変革していくかについて、7つのラウンドテーブルを設け、種々の切り口から討議を行いました。参加者は、経営幹部とCTOに加え若手キーパーソン等、昨年を大幅に上回る173名でした。女性会員もキーパーソンを中心に積極的な参加がありました。また、グローバルな活動として、2017年5月にEIRMA Annual Conference2017に参加し、海外団体との関係再構築、情報収集を実施しました。本参加報告は、会誌「技術と経済」2018年1月号に掲載しました。

「明日の経営を考える会」では、引き続き「明日の経営」に資する特別講演会や見学会を開催するとともに、「マネジメント研究会」、「ワーキングライフ研究会」を運営し若手の人材育成活動の一層の充実を図りました。なお、「マネジメント研究会」では、「イノベティブな事業創造」を基本テーマとして、また「ワーキングライフ研究会」では、「キャリアデザイン～輝ける女性の働き方～」を基本テーマとして、各研究会ともメンバー固定の自主的な運営にて相互研鑽し、また、研究会内外との活発な交流を図りました。また、編集委員会では、座談会としての未来シリーズの運営をJATES会議室内の座談会から、テーマに応じた有識者の所属企業・団体を訪問しての座談会とすることで、より一層の内容の充実と参加者増を実現しました。

「ライフサイクル・メンテナンス研究会」は社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方の研究を長期に亘って継続していますが、会員の関心度は相変わらず高く、魅力的なメンテナンス事業という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。「センサー&データフュージョン研究会」はセンサー等デバイスや計測装置から発生するデータからいかに価値ある情報を創り出すか、そのためのイノベーションを起こす仕組みをいかに創るかに焦点をあて、研究会を継続しました。

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能開発) について、科学技術とイノベーションの視点からわが国発のSDGsに貢献するイノベーション事例を発掘し、そのプロセスを研究し、今後のわが国イノベーション発展に資するために2018年1月より新たな研究会を発足し、活動を開始しました。

人材育成事業については上記経営研究事業等を通じて人材育成の強化に努めるとともに、人材育成に焦点を絞った受託型、オーダーメイド型の「ICT研究会」については第8期研究会を開講し、トップマネジメントとのディスカッションや現場研修等の充実強化を図り、主体性のある自立型の闊達な人材の育成に努めました。

また、今回は第6回目にあたる科学技術・イノベーション賞の募集を行い、ユーグレナやオプジーボなど日本として誇るべき技術を選定し、2月には多数の来賓および会員の列席のもとで表彰式を行いました。同時にカーネギーメロン大学の金出先生からは研究の進め方やイノベーションの起こし方に関するご講演をいただきました。また、今年度の特別企画として総合科学技術・イノベーション会議議員(当時)久間先生を中心としてSIPシンポジウムを開催し、Society5.0の原動力となる重要技術分野の各プログラムディレクターから成果報告をして頂き、多数の参加者とともにイノベーションへの機運を盛り上げることができました。

受託・助成事業については、(一財)新技術振興渡辺記念会様からのご支援のもとに、AI・ビッグデータ・ドローンなどを活用した新しい社会創造に関する調査研究を幅広く実施することができました。また、一般社団法人技術同友会から受託している同会の事務局業務については、同会の積極的な活動展開に伴い、例会、幹事会、委員会、シンポジウム、技術経営士関連業務などに参画しました。

会員の状況については、特別会員(法人会員)は新規入会14社、退会2社となり、積極的な勧誘活動の結果、29年度は12社増となりました(年度末で計106社)。一方、個人会員については会員の高齢化に伴う退会者が多く、29年度は入会15人、退会59人、差し引き44人の減となり、現状323人となりました。今後も本会の発展のために新規会員の獲得に努力してまいります。会員の皆様からのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

上記のように活発な活動を進めつつ、事業収入増の努力と徹底した経費節約を行い、年度事業収支は若干の黒字を確保する事が出来ました。関係各位のご支援、ご協力により、事業計画を達成する事が出来ましたことを厚くお礼を申し上げます。

2 経営研究事業

2-1 技術経営会議

平成 29 年度は重点方針である“交流・発信・育成”を柱にさらなる改革・発展に向けて業務に取組みました。この結果、各種会合への参加者は増加し、特に女性参加者も増加し、議論や交流が活性化しました。主な活動内容は以下の通りです。

議長	日本電気(株) 代表取締役会長	遠藤 信博 氏
副議長	(株)竹中工務店 常務執行役員	谷口 元 氏
副議長	NTTコミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長	船橋 哲也 氏

◇本会議		
開催日	内 容	開催場所
第 87 回本会議 平成 29 年 9 月 10 日 ～9 月 11 日 統一テーマ 「未来の産業創造 と社会変革」	<p>審議事項：EIRMA 総会報告、活動報告、決算報告、次期役員選任</p> <p>特別講演 1：豊かな未来を切り拓く NTT R&D のコ・イノベーション 講師：日本電信電話(株) 代表取締役副社長 篠原 弘道 氏</p> <p>特別セッション ラウンドテーブル討論 2017</p> <p>テーブル 1 テーマ：未来の AI・IoT・ビッグデータ 社会における経営 モデレーター：遠藤 信博 議長（日本電気(株)会長） プレゼンター：(株)日立製作所 技師長 矢野 和男 氏 アドバイザー：総合科学技術・イノベーション会議議員 久間 和生氏 日本経済新聞社編集委員 関口 和一 氏</p> <p>テーブル 2 テーマ：健康・医療情報データベース活用における課題 モデレーター：谷口 元 副議長（(株)竹中工務店常務執行役員） プレゼンター：デンマーク大使館投資担当官 飯田 留美 氏 アドバイザー：総務省情報流通振興課長 犬童 周作 氏 文部科学省環境エネルギー課長 藤吉 尚之 氏</p> <p>テーブル 3 テーマ：働き方改革、ダイバーシティ推進に向けた AI・IoT・ ビッグデータ活用 モデレーター：船橋 哲也 副議長（NTT コミュニケーションズ (株)副社長） プレゼンター：リクルートワークス研究所 清瀬 一善 氏 アドバイザー：国立女性教育会館理事長 内海 房子 氏 経済産業省産業技術環境局総務課長 奈須野 太 氏</p> <p>テーブル 4 テーマ：AI・IoT・ビッグデータ社会における製品・ サービス戦略 モデレーター：島田 啓一郎 氏（ソニー(株) 執行役員） プレゼンター：日本 IBM(株) 執行役員 久世 和資 氏 アドバイザー：総務省総務審議官 鈴木 茂樹 氏 東京工科大学教授 澤谷 由里子 氏</p> <p>テーブル 5 テーマ：AI・IoT・ビッグデータ社会におけるプラ ットフォーム モデレーター：池澤 克哉 氏（横河電機(株) プロダクト事業セン ター長） プレゼンター：三菱電機(株) 執行役員 高橋 俊哉 氏</p>	軽井沢プリン スホテル

	<p>アドバイザー：文部科学省科学技術・学術政策局審議官信濃正範氏 経済産業省 産業技術環境局審議官 佐藤 文一 氏</p> <p>テーブル6 テーマ：AI・IoT・ビッグデータ社会におけるデータ利活用</p> <p>モデレーター：須藤 亮 氏（㈱東芝特別嘱託）</p> <p>プレゼンター：日本電気㈱ データ流通戦略室長 若目田 光生 氏</p> <p>アドバイザー：東京工業大学 特任教授 田辺 孝二 氏</p> <p>内閣官房情報通信技術総合戦略室内閣参事官山路栄作氏</p> <p>テーブル7 テーマ：AI・IoT・ビッグデータ社会へ向けた人材育成</p> <p>モデレーター：佐相 秀幸 氏（㈱富士通研究所 顧問）</p> <p>プレゼンター：文部科学省 研究振興局 参事官 原 克彦 氏</p> <p>アドバイザー：東京大学 情報理工学研究所 教授 萩谷 昌己 氏 東京海上研究所 主席研究員 牧野 司 氏</p> <p>特別講演2：コグニティブによるビジネスと社会の変革 講師：日本アイ・ビー・エム㈱ 執行役員 最高技術責任者 工学博士 久世 和資 氏</p> <p>専門委員会報告：健康長寿社会とイノベーション専門委員会報告 委員長：㈱竹中工務店 谷口 元 氏</p> <p>特別講演3：消費者目線のモノづくり、コトづくり 講師：コーセー㈱ 常勤監査役 荒金 久美 氏</p>	
<p>第88回本会議 平成30年2月13日</p>	<p>1) 遠藤議長 挨拶</p> <p>2017年はAI元年であり、これからはAIプラットフォームの上で実践の年になり、スピード感に注視し本会議で扱うべきテーマ、議論を選択していきたい。最近の情勢や技術経営会議専門委員会の方向などを含めての挨拶があった。</p> <p>2) 活動状況報告（常務理事 太田健一郎より報告）</p> <p>①2017年度9月～2018年1月の活動報告。</p> <p>②今後の諸会合の開催日程が説明。</p> <p>3) 2018年度事業計画案及び活動予算案について（常務理事 太田健一郎より説明）</p> <p>①2018年度事業計画案 会員増員施策（夏の本会議に会員会社で1名無料招待他）について事務局支援などが承認された。</p> <p>②2018年度予算案 予算として3百万をJATES（編集費用他）費用として立案することが承認された。</p> <p>4) 特別講演 講演：”役に立ち、ストーリーのある、楽しい” 研究開発のすすめーロボットと計算機視覚の研究からー 講師：金出 武雄 氏 カーネギーメロン大学ワイタカー冠全学教授</p>	<p>ホテルグラ ンドパレス</p>
◇定例会		
<p>第91回 平成29年6月6日</p>	<p>第5回技術経営・イノベーションシンポジウム</p> <p>講演1：革新的な浄水技術が途上国社会を変える 講師：POLY-GLU GROUP CEO 小田 兼利 氏</p> <p>講演2：NAND型フラッシュメモリの実用化とさらなる大容量・低価格化に向けた技術開発 講師：東芝メモリ㈱ メモリ技術研究所 所長 百富 正樹 氏</p>	<p>日比谷図書 文化館</p>

	<p>講演3：創薬研究開発のパラダイムシフトを目指して 講師：ペプチドリーム㈱ 代表取締役社長 窪田 規一 氏</p> <p>講演4：デジタルプロダクションシステム(Viscotecs)のパーソナルオーダーシステムへの進化 講師：セーレン㈱ 取締役専務執行役員 牧田 博行 氏</p> <p>講演5：生産者から経営者へ"Akisai"で農業経営にイノベーションを 講師：富士通㈱ イノベティブ IoT 事業本部 Akisai 事業部 シニアディレクター 輪島 章司 氏</p>	
第92回 平成29年11月10日	<p>1) 活動報告 太田 健一郎 氏 JATES 常務理事</p> <p>2) メンバースピーチ 演題：『IHIにおけるものづくり、ひとづくり』 講師：石戸 利典 氏 ㈱IHI 代表取締役副社長</p> <p>3) 特別講演Ⅰ 演題：『人づくり革命について』 講師：新原 浩朗 氏 内閣府 政策統括官(経済財政運営担当)</p> <p>4) 特別講演Ⅱ 演題：『長寿社会を迎えて』 講師：辻 哲夫 氏 東京大学 高齢社会総合研究機構特任教授</p>	日比谷図書文化館
◇代表者懇談会		
第20期第4回 平成29年4月18日	見学：コマツIoTセンタ 東京 スマートコンストラクションについて デモンストレーション見学、ICT建機試乗	コマツIoTセンタ東京
第20期第5回 平成29年5月9日	講演：産学官連携の深化によるイノベーションの促進 講師：経団連未来産業・技術委員会企画部会長 産業競争力懇談会(COCN) 実行委員長 (株)東芝 技術シニアフェロー 須藤 亮 氏	ホテルグランドパレス
第21期臨時 平成29年10月11日	講演：新たな事業環境変化に対応する日本の新産業の創造に関する宣言 講師：技術同友会 代表幹事 蛭田 史郎 氏 技術同友会 代表幹事 立川 敬二 氏 技術同友会 代表幹事 神永 晋 氏	JATES 会議室
第21期第1回 平成29年12月5日	講演：Society5.0に向けた横割課題として “人の成長が組織を変え、社会を変える”ードラッガーなら何を見るか？ 講師：カリフォルニア大学 バークレー校 名誉理事 井上 隆秀氏	
第21期第2回 平成30年1月19日	演題：「Society 5.0に向けた戦略分野(その1)」として 『FINTECHの進化・推進が与える産業への影響』 講師：京都大学公共政策大学院 岩下直行教授 (前 日本銀行フィンテックセンター長)	
◇政策委員会 委員長：日本電気㈱ 代表取締役会長 遠藤 信博 氏		
第18回 平成29年5月9日	議題：今年度の政策委員会の進め方 専門委員会活動報告、データ利活用とサービスイノベーション専門委員会の新設、専門委員会に関する議論 講師：データ流通の動向 NEC 若目田 光生氏	ホテルグランドパレス
第19回 平成29年7月6日	講演：AI、IoT時代におけるデータ利活用の意義と課題 講師：内閣官房情報通信技術総合戦略室内閣参事官 山路 栄作氏	JATES 会議室
第20回 平成29年10月11日	演題：IoT・AI時代のデータ利活用について 講師：東京大学 大学院情報学環 教授 越塚 登氏	
第21回 平成30年3月2日	以下の2項目に関する議論 1)提言「健康長寿社会の実現にむけて」(2月9日発表)について 2)データ利活用とサービスイノベーション委員会の提言について	
◇健康長寿社会とイノベーション専門委員会 委員長：㈱竹中工務店 常務執行役員技術本部長 谷口 元 氏		

第10回 平成29年4月6日	講演：横浜市の健康施策における総合的展開と民間企業との取組について 講師：横浜市 健康福祉局 健康安全部長 大貫 義幸 氏	JATES 会議室
第11回 平成29年5月18日	講演1：JMDC における検診データ活用事業とその成果である健康年齢を活用した新たな健康保険の概要 講師：(株)日本医療データセンター(JMDC)ディレクター 久野 芳之 氏 健康年齢少額短期保険(株) 副社長 倉矢 忠和 氏 講演2：「平成30年度からの特定健診・保健指導の見直し」と「保険者インセンティブ」について 講師：厚生労働省 データヘルス・医療費適正化対策推進室長 高木 有生 氏	
第12回 平成29年6月23日	講演：超高齢社会への対応ー生涯現役社会の構築を目指してー 講師：経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課長 江崎 禎英 氏	
第13回 平成29年7月10日	報告案の説明 (株)竹中工務店 技術本部 石川 敦雄 氏 まとめ 委員長 (株)竹中工務店 常務執行役員 谷口 元 氏	
◇働き方改革～生産性向上とワーク・ライフバランス～専門委員会 委員長：NTTコミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長 船橋 哲也 氏		
第1回 平成29年4月24日	講演：働き方改革の意義と政府の取り組みについて 講師：内閣官房一億総活躍推進室・働き方改革実現推進室 内閣参事官 武田 康祐 氏	JATES 会議室
第2回 平成29年5月26日	講演：なぜ今、働き方改革なのか？ 生活改革との好循環を 講師：中央大学大学院戦略経営研究科教授 佐藤 博樹 氏	
第3回 平成29年6月19日	講演：「時間の使い方」 講師：国際ジャーナリスト、エッセイスト ドラ・トーザン 氏	
第4回 平成29年7月25日	講演：経済再生の鍵はSociety5.0と働き方改革 講師：(株)日本総合研究所 理事長 高橋 進 氏	
第5回 平成29年9月21日	講演：日本の生産性の現状と今後の課題 講師：(公財)日本生産性本部 特別顧問(前理事長) 松川 昌義 氏	
第6回 平成29年10月17日	講演：働き方改革ーヤフーの事例ー 講師：ヤフー(株) 上級執行役員コーポレートグループ長 本間浩輔氏	
第7回 平成29年11月21日	講演：カルビーにおける、自立的に成長し、成果を出し続ける人と組織づくり 講師：カルビー(株) 人事総務部 部長 福田 仁 氏	カルビー(株) 本社
第8回 平成29年12月21日	講演：クラウドソーシングでビジネスはこう変わる ～クラウドワークスが取組み「働き方革命」～ 講師：(株)クラウドワークス代表取締役社長 吉田浩一郎 氏	理窓会会議室
第9回 平成30年1月15日	講演：働き方改革と従業員エンゲージメント 講師：青山学院大学 経営学部 教授 山本 寛 氏	JATES 会議室
第10回 平成30年2月1日	講演：人口知能はビジネスをどう変えるか 講師：(株)日立製作所 研究開発グループ 技師長 矢野 和男 氏	ホテルグランドパレス
◇データ利活用とサービスイノベーション専門委員会 委員長：(株)ぐるなび 代表取締役会長 CEO 創業者 滝 久雄 氏		
第1回 平成29年6月9日	講演：データ流通・利活用に関する動向や課題認識 講師：日本電気(株) ビジネスイノベーション統括ユニット主席主幹 若目田 光生 氏	JATES 会議室
第2回 平成29年7月6日	講演：AI、IoT時代におけるデータ利活用の意義と課題 講師：内閣官房情報通信技術総合戦略室内閣参事官 山路 栄作 氏	ホテルグランドパレス
第3回 平成29年8月3日	講演：「海外および国内の法制度の動向」 講師：ひかり総合法律事務所 弁護士 板倉 陽一郎 氏	理窓会会議室

第4回 平成29年10月30日	講演1：データ利活用が変える金融サービス・デリバリー ークラウドでの自動家計簿ー 講師：(株)マネーフォワード取締役 Fintech 研究所長 瀧 俊雄氏 講演2：モバイルヘルスケアサービスの変遷と今後の可能性 ールナルナからの事例ー 講師：(株)エムティーアイ執行役員 秋田 正倫氏	JATES 会議室
第5回 平成29年11月29日	講演：Connected Industries 実現のためのデータ関連制度の整備状況 講師：経産省 商務情報政策局 情報経済課 河野 孝 氏	
第6回 平成29年12月19日	講演：IoT・AI時代のデータ利活用について 講師：東京大学大学院情報学環 教授 越塚 登 氏	
第7回 平成30年2月8日	第1回～第7回のまとめと提言に関する討議	
第8回 平成30年3月15日	講演：LINEを活用したデジタルマーケティング 講師：LINE(株) 執行役員 葉村 真樹 氏	

2-2 明日の経営を考える会

「特徴化経営の推進」を指向する異業種企業が集まり、新しい企業環境に適応する経営研究を進めるとともに、会員相互の交流を強化するため以下のとおり事業活動を推進しました。

[平成29年度活動方針]

1. 年間活動内容の充実と参加者の維持・増強により会員企業の満足度の向上を図る
2. 「明日の経営」に資する情報の発信・流通基地とする

代表幹事 (株)協和エクシオ 相談役 石川 國雄 氏
代表幹事 古河電気工業(株) 代表取締役社長 小林 敬一 氏

◇例会・個別講演会		
開催日	内 容	開催場所
第155回例会 平成29年5月15日	平成28年度「ワーキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」成果報告 ・ワーキングライフ研究会テーマ： 「多様な仕事観に応じた女性の働き方を考える」 ・マネジメント研究会テーマ：「事業創造」	ホテルグランドパレス
第156回例会 平成29年8月23日	特別講演1：JICAの活動と発展途上国・新興国の現状 ーインド情勢を中心にー 講師：独立行政法人 国際協力機構(JICA)理事 江島 真也氏 特別講演2：ワークスタイル改革を推進するテレワーク 講師：(一社)日本テレワーク協会 専務理事 中山 洋之氏	
第2回個別講演会 平成29年11月1日	講演：武器としての人口減社会～国際比較統計でわかる日本の強さ～ 講師：経済協力開発機構(OECD)東京センター 所長 村上 由美子氏	JATES 会議室
第157回例会 平成29年11月15日	平成29年度「ワーキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」中間報告 ・ワーキングライフ研究会基本テーマ： 「キャリアデザイン～輝ける女性の働き方～」 ・マネジメント研究会テーマ：「イノベティブな事業創造」	ホテルグランドパレス
第158回例会 平成30年1月26日	特別講演：AI×VRの衝撃 ー第4次産業革命からシンギュラリティまでー 講師：ARシステム(株) 代表取締役会長兼CEO 雑賀 美明 氏	弘済会館

	<p>会員企業からのショート講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 王子ホールディングス(株) 2. 昭和電線ケーブルシステム(株) 	
<p>第 159 回 平成 30 年 3 月 9 日</p>	<p>特別講演：江戸はスゴイ ～東京五輪までに知っておきたいクールジャパンの 源泉～</p> <p>講師：歴史タレント/女優 堀口 茉純 氏</p> <p>会員企業からのショート講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宇部エクシモ(株) 2. (株)エクシオテック 	<p>ホテルグラ ンドパレス</p>
◇代表者・幹事会		
<p>第 140 回 平成 29 年 5 月 8 日</p>	<p>審議事項：平成 28 年度決算、平成 29 年度活動予算 報告事項：平成 29 年度活動状況、活動予定</p> <p>メンバースピーチ： テーマ：通建会社の新事業開拓“奮闘記” 話題提供者：(株)ミライト 次世代モバイルビジネス創造本部 ee-TaB*推進部長 高橋 秀一郎氏</p>	<p>JATES 会議室</p>
<p>第 141 回 平成 29 年 9 月 6 日</p>	<p>報告事項：会員企業代表者の交代、平成 29 年度活動報告、 今後の活動計画</p> <p>メンバースピーチ： テーマ：大容量光通信を支える光デバイスの現状と今後の展開 話題提供者：古河電気工業(株) 研究開発本部 情報通信・エネルギー 研究所フォトニックデバイス開発部 部長 向原 智一氏</p>	
<p>第 142 回 平成 30 年 2 月 15 日</p>	<p>審議事項：平成 30 年度活動計画、活動予算 報告事項：平成 29 年度活動状況、活動予定</p> <p>メンバースピーチ： テーマ：10 年度のありたい姿に向かって ～私たちのオープンイノベーション奮闘記～ 話題提供者：日立化成(株) イノベーション推進本部 先端技術センタ 戦略企画部 部長代理 森 周子氏</p>	
◇マネジメント研究会		
<p>基本テーマ：イノベティブな事業創造 コーチ：岡部 泉氏（ウィズン・コンサルティング(株) 代表取締役社長） 平成 29 年度参加者：13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティング・合宿（平成29年6月30日～7月1日：ホテルコンチネンタル府中） ・全体会議（平成 29 年 8 月 3 日、9 月 13 日、10 月 11 日、11 月 29 日、平成 30 年 1 月 17 日、2 月 16 日、3 月 14 日） ・中間報告（平成 29 年 11 月 15 日） 		<p>ホテルコン チネンタル 府中</p> <p>JATES 会議室</p> <p>ウィズン・コン サルティング</p>
◇ワーキングライフ研究会		
<p>基本テーマ：キャリアデザイン ～輝ける女性の働き方～ 平成 29 年度参加者：10 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティング（平成 29 年 6 月 21 日） 講演：人生 100 年時代のキャリアデザイン 講師：ジャーナリスト/淑徳大学 教授 野村 浩子 氏 		<p>JATES 会議室</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・研究会（平成 29 年 7 月 22 日、8 月 29 日、9 月 11 日、10 月 4 日、10 月 23 日、10 月 26 日、10 月 31 日、11 月 28 日、12 月 12 日、平成 30 年 1 月 11 日、1 月 30 日、2 月 8 日、2 月 27 日） ・中間報告（平成 29 年 11 月 15 日） ・先進企業訪問・有識者ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 三菱電機(株)（平成 30 年 3 月 12 日） 住友電気工業(株) 本社（平成 30 年 3 月 23 日） 住友電気工業(株) 横浜製作所（平成 30 年 3 月 27 日） 	
◇見学会	
第 110 回（平成 29 年 4 月 18 日）JAXA 調布航空宇宙センター 第 111 回（平成 29 年 7 月 12 日）(株)竹中工務店 竹中技術研究所 第 112 回（平成 29 年 9 月 22 日）海上自衛隊 横須賀地方総監部 第 113 回（平成 29 年 12 月 7 日）オリンパス(株) 技術歴史館「瑞古洞」 第 114 回（平成 30 年 2 月 9 日）（国研）産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター	
◇編集委員会	
第 103 回編集委員会（平成 29 年 6 月 16, 17 日）：(栃木県日光市合宿) 明経コミュニケーション誌第 105 号発行（平成 29 年 7 月） 未来シリーズ 第 11 回 見学&ラウンドテーブル（平成 29 年 8 月 1 日） テーマ：未来のオフィス 講師：サイボウズ(株) ビジネスマーケティング本部ワークスタイルエバンジェリスト 和田 武訓氏 第 104 回編集委員会（平成 29 年 9 月 26 日） 未来シリーズ 第 12 回 見学&ラウンドテーブル（平成 29 年 12 月 13 日） テーマ：未来の鉄道 講師：鉄道総合技術研究所 佐々木 君章氏、鈴木 浩明氏、奥井 明伸氏 明経コミュニケーション誌第 106 号発行（平成 29 年 10 月） 第 105 回編集委員会（平成 30 年 1 月 29 日） 明経コミュニケーション誌第 107 号発行（平成 30 年 1 月） 第 106 回編集委員会（平成 30 年 3 月 29 日）	

2-3 ライフサイクル・メンテナンス研究会

(1) 活動の概要

社会インフラのメンテナンス事業分野に土木・建設業界はじめ、ICT業界、各種サービス業界などの幅広い産業界が如何に参画し、魅力的なメンテナンス事業を目指していけるか、という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

平成 29 年度は下記のとおり実施しました。

- ・テーマ：社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方
- ・研究会参加企業数：9 社
- ・委員長：早稲田大学 教授 高田祥三氏

開催日	内容	開催場所
第 135 回研究会 平成 29 年 5 月 19 日	講演：空間情報を活用したスマートインフラの取組み 講師：(株)日立ソリューションズ クロスインダストリソリューション事業部 空間情報ソリューション本部 スマートインフラビジネス部 主任技師 大堀 正人 氏	JATES 会議室

第136回研究会 平成29年6月27日	講演：小型無人航空機ドローン活用の最前線 講師：東京大学 航空宇宙工学 教授 (一社)日本UAS産業振興協議会 理事長 鈴木 真二 氏	
第137回研究会 平成29年7月14日	見学：NEXCO 東日本 関東支社道路管制センター 最新ICT技術を活用した高速道路の交通状況のリアルタイム 監視や新管制センターの施設を見学	埼玉県さいたま市岩槻
第138回研究会 平成29年9月26日	見学：NTTドコモ R&Dセンター WHARFの見学 講演：NTTドコモのNWの進化と5Gへの取り組み 講師：無線アクセス開発部 担当部長 河原 敏朗 氏	神奈川県横須賀市
第139回研究会 平成29年10月26日	講演：近年の水害の態様とビッグデータ化を迎えた河川行政 講師：国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室長 佐藤 寿延 氏	JATES 会議室
第140回研究会 平成29年11月21日	見学：NTT霞ヶ関ビル 所内設備、とう道	東京都千代田区
第141回研究会 平成30年2月20日	見学：新日鐵住金 君津製鉄所 圧延工程・プラスチックリサイクル設備・製品出荷岸壁	千葉県君津市
第142回研究会 平成30年3月8日	見学：リコー 環境事業開発センター 進化する環境経営	静岡県御殿場市

2-4 イノベーション実践戦略研究会

(1) 活動の概要

2003年～2016年の14年間、好評を博してきたオンリーワン企業に学ぶ「技術競争戦略研究会」を発展させ、大企業、中小企業、ベンチャー間の交流をはかりオープン・イノベーションを促進する場を目指して、新たに「イノベーション実践戦略研究会」を発足させた。毎回、若手や女性を含む約70名の参加の下、講演終了後の交流会も併せて実施し、活性化を図っている。参加対象者は当会の法人会員。

- ・2017年4月～2018年3月の1年間、毎月1回開催
- ・オンリーワン企業、ベンチャー企業の経営者を講師とした講演会、討論、交流の場。
- ・数回は会社・工場見学を併せて実施。
- ・委員長：政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏

開催日	内 容	開催場所
第1回研究会 平成29年4月20日	基調講演：大学発ベンチャーとイノベーション・エコシステム 講師：東京大学 教授 経営学博士 産学協創推進本部 イノベーション推進部長 各務 茂夫 氏	ホテルグラ ンドパレス
第2回研究会 平成29年5月31日	講演：超小型衛星が切り拓く新宇宙ビジネス 講師：㈱アクセルスペース 代表取締役 中村 友哉 氏	
第3回研究会 平成29年6月22日	講演：会社の夢、僕の夢～成長から転換そして変革へ 講師：㈱サイベックコーポレーション 代表取締役社長 平林 巧造 氏	長野県塩尻市
第4回研究会 平成29年7月20日	講演：『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』 講師：㈱ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏	ホテルグラ ンドパレス
第5回研究会 平成29年8月25日	見学：YKK㈱ 黒部事業所 講演：YKK 企業精神「善の巡環」幸せな社会を、黒部から	富山県黒部市

	講師：元 YKK(株) 代表取締役副会長 北野 芳則 氏	
第 6 回研究会 平成 29 年 9 月 15 日	講演：ぶつからないクルマ？ ～スバルが生んだアイサイトの秘密～ 講師：(株)SUBARUスバル 統合制御統括 上級PGM 樋渡 穰 氏	ホテルグラ ンドパレス
第 7 回研究会 平成 29 年 10 月 19 日	講演：ディープラーニングがもたらす産業革命 講師：(株)Preferred Networks 取締役 最高執行責任者 長谷川 順一 氏	理窓会会議室
第 8 回研究会 平成 29 年 11 月 16 日	見学：石坂産業(株) リサイクル工場 講演：Nothing to waste 世界に誇るリサイクル技術で循 環型社会を目指す 講師：石坂産業(株) 代表取締役 石坂 典子 氏	埼玉県入間郡
第 9 回研究会 平成 29 年 12 月 21 日	講演：クラウドソーシングでビジネスはこう変わる ～クラウドワークスが取組み「働き方革命」～ 講師：(株)クラウドワークス代表取締役社長 吉田浩一郎 氏	理窓会会議室
第 10 回研究会 平成 30 年 1 月 18 日	講演：ベンチャーファンドとオープン・イノベーション 講師：Global Catalyst Partners Japan (GCPJ) マネージング・ディレクター兼共同創設者 大澤 弘治 氏	JATES 会議室
第 11 回研究会 平成 30 年 2 月 22 日	講演：決裁、金融の新たなビジネス展開 (FinTech) 講師：(株)インキュリオン代表取締役 FinTech 協会代表理事 丸山 弘毅 氏	
第 12 回研究会 平成 30 年 3 月 22 日	—総括— 委員長 政策研究大学院大学 名誉教授 橋本久義氏	

2-5 ICT 研究会

クラウドコンピューティングやスマートフォンの急速な普及など、ICT システムは益々重要になっています。今後の ICT 事業の成長を促進し、ICT 技術、ソリューションをリードしていくことの出来る、自律的な人材の育成を目的として、ICT に関わる企業の中堅幹部、エンジニアの方を対象に、幹部対話会や企業訪問研修等の活動を充実・強化して推進しました。

・参加社：9 社

2-6 センサー&データフュージョン研究会

センサー等デバイスや計測装置から発生するデータからいかに価値ある情報を創り出すか、そのためのイノベーションを起こす仕組みをいかに創るかに焦点を当て、サプライ側、ユーザー側、学界等、各領域の研究で活躍している方を講師として招きその領域での課題、研究要素、ビジネス化の課題等を認識・議論しました。

委員長：現健康増進ネットサービス合同会社代表社員、元ソニー(株)上席常務 渡辺 誠一 氏		
開催日	内 容	開催場所
第 7 回研究会 平成 29 年 6 月 14 日	講演 1：農業分野における ICT 活用の可能性 講師：NECソリューションイノベータ(株)イノベーション戦略 本部 主席プロフェッショナル 村田 淳夫 氏 講演 2：儲かる農業の実現に向けた見える化技術による農業現 場での情報活用事例の紹介 講師：(株)日立ソリューションズ東日本 ビジネスイノベーション推進センタ 技師 大江 康一 氏 (有)トッピーバー 富士見農場 農場長 伊藤 佑貴 氏	JATES 会議室

第 8 回 平成 29 年 8 月 24 日	講演：スマート農業の推進について 講師：農林水産省 農林水産技術会議事務局研究企画課室長 山田 広明 氏	
和郷園視察ツアー 平成 29 年 6 月 1 日	於 農事組合法人 (株)和郷園 「農家の自律」をモットーに、経営多角化を成功させている先 駆者として著名な千葉県香取市にある農事組合法人「和郷園」 を視察。	千葉県香取市
トップリバー視察ツアー 平成 29 年 8 月 22 日	於 (有)トップリバー レタスやキャベツなどの高原野菜を核に、「契約栽培による農 産物の生産・販売」で「儲かる農業」のビジネスモデルを確立、 また収益を上げながら、独立を目標にシステム化された「農業 従事者の育成・指導」、の 2 本柱で事業を展開し、明日の農業 を支えている(有)トップリバーを視察。	長野県北佐久郡
第 9 回 平成 29 年 11 月 13 日	講演：ドローン技術の動向と建築維持保全への利活用について 講師：(国研)建築研究所材料研究グループ主任研究員宮内博之氏	JATES 会議室
メビオール(株)見学 平成 29 年 11 月 14 日	講演：アイメック技術の紹介および生産現場の見学 講師：メビオール(株) 社長 森 有一 氏、副社長 吉岡 浩 氏	神奈川県平塚市
第 10 回 平成 29 年 12 月 14 日	見学：コマツ IoT センタ東京 講演：スマートコンストラクションの紹介と見学 講師：コマツ スマートコンストラクション推進本部 本部長 小野寺 昭則 氏	千葉県千葉市
第 11 回 平成 30 年 1 月 26 日	講演：橋梁の打音検査ならびに近接目視を代替する飛行ロボッ トシステムの研究開発 講師：東北大学未来科学技術共同開発センター准教授大野和則氏	JATES 会議室
第 12 回 平成 30 年 3 月 12 日	講演：高度電子社会を襲う電磁ノイズ 講師：(国研)産業技術総合研究所 知能システム研究部門 大川 慶直 氏	

2-7 SDGs 研究会

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能開発) について、本年度はまずは国内外の SDGs をめぐる動きや、官側からの取組について理解するために講師を招き開催しました。今後は、科学技術とイノベーションの視点からわが国発の SDGs に貢献しているイノベーション事例に焦点を当て、その分野・研究で活躍している方を講師として招き、そのプロセス等を認識・議論していきます。

委員長：東京工業大学特任教授 田辺 孝二氏		
開催日	内 容	開催場所
第 1 回研究会 平成 30 年 1 月 25 日	講演：最近の SDGs をめぐる動きについて 講師：外務省国際協力局地球規模課題総括課 吉川 隆史氏	JATES 会議室
第 2 回研究会 平成 30 年 2 月 27 日	講演：科学技術振興機構の SDGs への取り組みと産業界への期待 講師：(国研)科学技術振興機構 上席フェロー 大竹 暁氏	

2-8 シンポジウム(SIP 特集)の実施

テーマ：「Society 5.0 実現へ向けて～SIP の取り組みから展望する」

第5期「科学技術基本計画」、あるいは「未来投資戦略2017」で述べられている「超スマート社会(Society 5.0)の実現へ向けて、産業界がどのように研究開発を推進し、イノベーションを指向した経営を展開すべきか、国の政策を踏まえて現状を認識し、将来展望を得る機会としました。

(1) 開催日：平成30年2月21日(水)

(2) 場所：如水会館

(3) 出席者数：約160名

(4) 演題および講師

- ・「Society5.0に向けた取り組み」～我が国の科学技術イノベーション～
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員 久間 和生氏
- ・「自動走行システム」への取り組み
SIPプログラムディレクター
トヨタ自動車(株) 先進技術開発カンパニー 常務理事 葛巻 清吾氏
- ・「レジリエントな防災・減災機能の強化」への取り組み
SIPプログラムディレクター
東京大学地震研究所地震津波災害予測センター教授・センター長 堀 宗朗氏
- ・「次世代農林水産業創造技術～アグリイノベーション創出」への取り組み
SIPプログラムディレクター
北海道大学 大学院農学研究院 副研究院長 教授 野口 伸氏
- ・「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」への取り組み
SIPプログラムディレクター
情報セキュリティ大学院大学 学長 後藤 厚宏 氏

2-9 F F 会

当会が企画・運営の支援を行っているF F 会は、原則として毎月第4金曜日に開催し、科学技術等に係わる諸問題についての卓話とそれに基づく議論を行っています。平成29年度は「不確実性の時代をリードする～明るい未来を考える」をテーマに掲げて、例会8回、見学会2回、F F 会発足30周年記念企画行事を支援しました。

3 普及啓発事業

3-1 月刊機関誌「技術と経済」の発行

科学技術と経済の会の各研究会の活動成果を広く普及啓発するため、各研究会の講演録を主体とする構成とし、掲載記事の内容の充実を図りました(特集テーマについてはWebサイトに掲載)。発行号数は平成29年度末で613号となりました。

3-2 「技術経営・イノベーション賞」の表彰実施

平成29年度の「技術経営・イノベーション賞」は、優れたイノベーション案件の幅広い発掘を重点にするとともに、協賛機関として(一財)新技術振興渡辺記念会の参加を得て実施しました。

(1) 第6回表彰式 平成30年2月13日 ホテルグランドパレス

①主催者挨拶：(一社)科学技術と経済の会会長 野間口 有

②来賓挨拶：文部科学省 科学技術・学術政策局長 佐野 太 氏

経済産業省 大臣官房審議官(産業技術環境局担当) 佐藤 文一 氏

③受賞テーマと受賞者

表彰	テーマ	受賞者
文部科学大臣賞	ミドリムシを活用したビジネス戦略	(株)ユーグレナ
経済産業大臣賞	免疫チェックポイント阻害剤「オプジーボ」の開発	小野薬品工業(株)

科学技術と経済の会会長賞	運転支援システム アイサイト	(株)SUBARU
科学技術と経済の会会長賞	暗号技術による安心安全社会への貢献	三菱電機(株)
科学技術と経済の会会長賞	新たに開発した土と水の役割を果たすフィルムを用いる高品質農産物栽培システム (アイメック®)	メビオール(株)
科学技術と経済の会会長賞	呼吸で移動するがんをピンポイントで狙える粒子線がん治療装置の開発	(株)日立製作所 北海道大学大学院
選考委員特別賞	変なホテル	H. I. S ホテルホールディングス(株)
選考委員特別賞	風計測ライダの実用化と普及への貢献～「風を感じる」から「風を視る」技術へ～	三菱電機(株) 情報技術総合研究所

3-3 ホームページの活用

会員や社会との情報共有に向けて、主なイベント情報、研究会情報等の迅速かつ明確な内容の掲載を行い、情報発信力の強化を図りました。ホームページの構成・内容について全般的な見直しとリニューアルを行い、シンプル化及び見やすさを向上させて会員サービスの向上を図るとともに、会議日程や英語版等を新規開設しました。

3-4 名古屋支部の活動

支部活動を通じた会員相互の緊密な連携を図るため、談話会（10回）及び講演会ならびに企業見学会（1回）等の活動を実施しました。

4 国際活動事業

EIRMA（欧州工業研究管理協会）の年次総会に参加し、EIRMA と KOITA（韓国産業技術振興協会）との個別ミーティングを行いました。その結果、EIRMA との関係性を再構築して、欧米等の団体(W-FIRA)や欧米企業との連携を進めていく方向が確認できました。当面はEIRMA、KOITA のイベント参画や情報交流等で、関係を深めていくことになりました。

5 受託・助成事業

平成 29 年度は下記の受託・助成事業を実施しました。

5-1 科学技術・イノベーションによる地球持続可能開発 (Sustainable Development) に関する調査研究」(受託研究)

- (1) 委託機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 12 月 14 日
- (3) 調査研究の概要：

産業技術が高度化し複雑化した現代、SDGs (Sustainable Development) においては、科学技術の役割、産業界の役割が重視され、中小企業やベンチャーも大きな役割を果たしており、活動事例も見られるようになった。これらの活動事例をフォローして新技術の振興を図り、社会経済の発展と福祉の増進に寄与するとの視点から広い視野にわたって活動事例の調査研究を行う。

5-2 農業改革におけるIoT・ビッグデータ活用に関する調査研究（研究助成）

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成29年4月～平成29年9月
- (3) 調査研究の概要：

構造的な課題を抱えるわが国の農業は安倍内閣の下「攻めの農業」政策が出され、規制改革と並んで新技術の適用、AIやロボットを活用するスマート農業に焦点が当てられている。この流れに沿って農業経営に資する農業クラウドプラットフォームの調査研究を行った。

5-3 ドローンを活用した社会インフラ向けイノベーションに関する調査研究（研究助成）

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成29年10月～平成30年3月
- (3) 調査研究の概要：

ドローンとAIによる画像分析や3D測量などの技術連携によって新たなイノベーションが起きつつある。これらの活用を俯瞰整理するとともに、ドローンイノベーションが特に将来の社会インフラの構築や保守管理に貢献する可能性について調査研究を行った。

5-4 事務局受託業務

- (1) 委託機関：(一社) 技術同友会
- (2) 契 約 日：平成29年4月～平成30年3月
- (3) 業務概要：例会・幹事会・委員会運営、助成事業、技術経営士認定制度関連事務等

6 永年表彰

永年会員表彰：特別会員 1社、個人会員 7名

7 会の動き

7-1 会員数

平成29年度末における個人会員、特別会員の状況は下表のとおりとなりました。名誉会員は佐々木元、武安義光、豊田章一郎の3氏であります。

区 分	平成28年度末	平成29年度末	平成29年度		増 減
			入会	退会	
個人会員	367	323	15	59	△44
特別会員	94	106	14	2	12

7-2 事務局

平成30年3月31日現在の職員は14名で、内訳は、技術経営会議3名、明日の経営を考える会1名、調査研究部1名、事業部2名、編集部1名、技術同友会事務局3名、総括部3名で構成しています。この中8名は出向者です。

7-3 諸会議

開催日	内容	開催場所
第159回理事会 平成29年4月27日	・平成28年度事業報告・決算報告(案)について ・平成28年度公益目的支出計画実施報告(案)について ・理事・監事の選任(案)について	JATES会議室

第 51 回通常総会 平成 29 年 5 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告・決算報告(案)について ・平成 28 年度公益目的支出計画実施報告について ・理事・監事の選任(案) 	ホテルグラ ンドパレス
第 160 回理事会 平成 29 年 10 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度上期事業報告について ・第 6 回技術経営・イノベーション賞の実施状況について ・新入会員の承認について ・平成 29 年度上期代表理事・業務執行理事業務報告について 	JATES 会議室
第 161 回理事会 平成 30 年 3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業計画・収支予算(案)について ・第 6 回「技術経営・イノベーション賞」表彰の実施について ・次期総会における永年会員感謝状贈呈者 ・平成 29 年度下期代表理事、業務執行理事業務報告について 	

【事業報告の附属明細書】

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。